

■陶山鈍翁(訥庵) 儒学者、農政家。“対馬聖人”。朝鮮貿易依存から脱却すべく、猪駆除して農業振興。
すやまどんおう
明暦の大火・1657＝ 対馬国厳原で、藩医で儒者陶山玄育の嫡子に生まれる。

酒井忠清大老1666＝ 9歳：
入鉄砲出女令1667＝10歳：早くも、江戸に遊学し、木下順庵に入門、室鳩巢らとともに、勉学に励む。

・・・ 1671＝14歳：奈良に赴き、心学を学んだと言われるが、当時大和にいた熊沢蕃山から陽明学を学んだらしくもある。
三井越後屋・1673＝16歳：帰郷し、
談林派俳諧・1675＝18歳：

徳川綱吉將軍1680＝23歳：
好色一代男・1682＝25歳：朝鮮通信使に随行して、江戸に出たりするが、生涯にわたって、郷里に定住し、

堀田正俊暗殺1684＝27歳：

生類憐令始・1687＝30歳：

奥の細道・・・1693＝36歳：

生類憐令頂点1695＝38歳：

かねて、猪鹿の被害を受け、食糧不足に悩まされ続け、ついに、猪が人口の4倍にまで増加、
・・・ 1699＝42歳：*対処に行き詰まった藩から、郡奉行に抜擢されると、生類憐れみの令に抵触しないよう、“猪鹿追詰”と称し、綿密かつ周到な計画を立て、建議すると、藩是として採用され、
・・・ 1700＝43歳：_思いがけず、殲猪令が下されて、着手、「猪鹿追詰覚書」も著し、
赤穂浪士討入1702＝45歳：
_北部から、区画しては、その中の猪を駆除するという方式で、少しずつ南下し、
・・・ 1706＝49歳：_生活困難者のために扶助の基準を示し、窮民屋を設置するなど、救貧対策なども、行いながら、

辻つ拘束・1708＝51歳：*その成果が確実に見えてきて、側用人に栄転するも、まもなく辞め、以後、著述に専念。
徳川綱吉没・1709＝52歳：この年、9年かかった大事業が完遂される。

冥途の飛脚・1711＝54歳：「鉄砲格式僉議条目」、

徳川吉宗將軍1716＝59歳：

洋書輸入解禁1720＝63歳：
小石川薬園・1721＝64歳：「対州鄉村帳」「農業全書約言」、
・・・ 1722＝65歳：「老農類語」「刈麦談」、
近松没・・・1724＝67歳：「農政問答」「甘藷説」はじめ、

梅岩心学始・1729＝72歳：
_農政中心に膨大な著作を成して、

享保大飢饉・1732＝75歳：_没した。

「人づくり風土記(長崎)」, 平凡社百科事典,